

事業シート（概要説明書）			
仕分対象事業名（個別事業名）	観光振興支援事業		
中事業名	観光振興支援事業	担当部・課名	市民経済部観光課
総合計画上の位置付け（分野名）	観光	担当名	観光担当
事業開始年度	平成16年度	根拠法令	鎌倉市補助金等の予算に執行に関する取扱い要綱
	平成14年度		
	平成20年度		
	平成20年度		
	昭和63年度		
実施方法	直接実施		
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）		
	負担金〔直接〕（補助先・実施主体：鎌倉俳句&ハイク実行委員会）		
	負担金〔直接〕（補助先・実施主体：鎌倉ビーチフェスタ実行委員会）		
	負担金〔直接〕（補助先・実施主体：鎌倉花火大会実行委員会）		
	負担金〔直接〕（補助先・実施主体：鎌倉花火大会実行委員会・鎌倉市観光協会）		
	補助金〔直接・間接〕（補助先：鎌倉市観光協会 実施主体：鎌倉市観光協会他）		
貸付（貸付先： ） その他（ ）			
事業概要	目的 （何のために）	鎌倉市観光協会等が実施する観光行事に対する支援や、市が実行委員会として参加する観光行事を実施することにより、市民はもとより多くの観光客に鎌倉の持つ様々な観光の魅力を伝え、観光の振興を進めるとともに地域の活性化を図る。	
	対象 （誰・何を対象に）	観光客及び市民	
	事業内容 （手段、手法など）	俳句&ハイク事業負担金：俳句を通じて、鎌倉の文化・観光の振興と地域の活性化を目的に、市民、観光客が鎌倉を散策しながら四季折々の句を詠み投句する事業費に対し、その一部を負担する。（投句箱：市内33箇所、選句及び発表：各季入選、年間大賞）	
		鎌倉ビーチフェスタ事業負担金：鎌倉の海の魅力を再認識してもらうことを目的に、海岸を舞台にしたイベント（フラダンス、ライブ、砂像作り等）の事業費に対し、その一部を負担する。（開催時期：5月中旬～6月初旬の土日、会場：由比ガ浜海岸）	
		鎌倉花火大会実行委員会負担金：鎌倉花火大会実施に係る経費のうち、安全対策経費を除いた経費に対し、その一部を負担する。（第62回大会：平成22年7月21日（水）予備日22日（木） 会場：鎌倉海岸 打上げ予定数：約1700発）	
主要観光行事安全対策負担金：鎌倉花火大会・鎌倉まつりに係る安全対策経費（警備委託、看板、バリケード設置委託、仮設公衆トイレのリース料等）に対し、その一部を負担する。（第52回鎌倉まつり：パレード、静の舞 平成22年4月11日（日）、流鏝馬 4月18日（日））			
鎌倉まつり・薪能等補助金：観光協会が主催する観光行事及び観光協会が助成する地域観光行事の経費に対し、その一部を負担する。 *観光協会主催行事：鎌倉まつり、薪能、ふれあいフェスティバル *観光協会助成行事：義経まつり、大船まつり、玉縄史跡まつり			
事業の必要性	「鎌倉まつり」、「花火大会」、「薪能」は、鎌倉の歴史ある3大行事として、市民、観光客から親しまれ、期待されている行事である。また、「俳句&ハイク」、「鎌倉ビーチフェスタ」、「ふれあいフェスティバル」は、鎌倉の魅力を再認識してもらう事業として定着しつつある。さらに、「義経まつり」、「大船まつり」、「玉縄史跡まつり」は、それぞれの地域の活性化を目的に、地域の方が中心となって取り組んでいる事業である。こうした様々な観光事業が相乗して、年間1,850万人を超す観光客の来訪につながっているため、今後も事業に引き続き支援をしていく必要がある。		

コスト	平成22年度		人件費内訳			従事職員数
	事業費	17,994 千円	}	職員構成	平均人件費 × 従事職員数	
	人件費	11,215 千円		担当正職員	9,270 千円	1 人
	総計	29,209 千円		臨時職員他	1,945 千円	180 人
事業費 (財源内訳・ 単位千円)	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担(支出)割合	平成22年度予算の財源内訳		
	H19(決算)	18,690	29.4%	国補助金	0	
	H20(決算)	22,730	34.7%	県補助金	0	
	H21(決算見込)	18,533	42.9%	起債	0	
	H22(予算)	17,994	29.3%	一般財源	17,994	
平成22年度 事業費内訳	俳句&ハイク事業負担金 : 負担金 600,000円 (事業費: 1,760,000円)					
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金 : 負担金 1,100,000円 (事業費: 3,400,000円)					
	鎌倉花火大会実行委員会負担金 : 負担金 5,004,000円 (事業費: 16,690,293円)					
	主要観光行事安全対策負担金 : 負担金 5,000,000円 (事業費: 11,457,000円)					
	鎌倉まつり・薪能等補助金 : 補助金 6,290,000円 (事業費: 28,195,000円)					
	負担金、補助金合計 17,994,000円 (事業費合計: 61,502,293円)					
活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度	
	俳句&ハイク事業年間投句数	句	9,194	8,047	7,442	
	ビーチフェスタ事業来場者数 (2日間延人数)	万人	5.5	0 (両日雨天中止)	2.6 (2日目雨天中止)	
	花火大会見物客数	万人	27	27	0 (雨天中止)	
	-1 鎌倉まつり見物客数	万人	32	21.5	28.9	
	-2 花火大会見物客数	万人	27	27	0 (雨天中止)	
	-1 鎌倉まつり見物客数	万人	32	21.5	28.9	
	-2 薪能来場者数 (2日間延人数)	人	1,019 (初日雨天中止)	2,177	1,182 (初日雨天中止)	
	-3 ふれあいフェスティバル応募作品数	件	820	915	759	
	-4 地域観光助成事業 (義経まつり、大船まつり、 玉縄史跡まつり)	人	-	-	-	
単位当たりコスト (事業費/活動指標)	事業費 / 投句数、来場者数・見物客数 主要事業安全対策負担金は20年度から	円	65	75	81	
			20	-	42	
			33	24	-	
			-1 -	-1 4	-1 3	
			-2 -	-2 16	-2 -	
			-1 9	-1 19	-1 10	
			-2 4,573	-2 2,435	-2 3,942	
			-3 244	-3 219	-3 264	
			-4 -	-4 -	-4 -	

成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	・観光客数は、平成17年の数値(1,840万人)以上 ・数を増やすことを目標とせず、休日に集中する観光客を平日に分散したり、新たな魅力を紹介して滞在時間の延長を目指す				
成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	観光客数	人	18,685,598	19,344,470	18,833,713
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>俳句&ハイク事業は、今年で7年目を迎え、投句数はここ数年減少傾向ではあるが、投句する年代は、70代に次いで10代が多い。これは修学旅行などで来訪する児童、生徒が、課外学習の一環として取組んでいることが理由と考えられるが、幅広い年代の方が気軽に参加できる事業であり、今後も継続して事業を続けていくことが必要である。</p> <p>鎌倉ビーチフェスタ事業は、今年で9回目を迎え、鎌倉の海を再認識する行事として定着してきた。イベントの内容もライブ、フラ、ゲームなど定例的な催しの他、笠懸、ミニ江ノ電乗車会、スカイダイビングショーなど多彩な内容を組み込み実施されている。特に市民にとっては、それぞれのイベントに参加しながら1日を海で過ごすことができる唯一の事業であることから、毎年開催が期待されている。今後も継続して事業を続けていくことが必要である。</p> <p>鎌倉花火大会は、今年で62回目を迎え、鎌倉の夏の風物詩として市民、観光客から大変人気がある行事である。しかし、鎌倉という知名度や交通の便がいいことなどから最近では、非常に多くの見物客が訪れ、会場となる砂浜に入りきれない状況になっている。このため、安全確保を図る上から観客の誘導や、警備に要する人員や経費が、ここ数年大幅に増加する一方、財源とする寄付金、協賛金は、経済情勢の悪化等により減少傾向であり、財源の確保が困難な状況となってきている。今後は、花火大会のあり方も含めた総合的な検討が必要である。</p> <p>- 1 鎌倉まつりは、今年で52回目を迎え、4月の第2日曜日から第3日曜日にかけて、パレード、静の舞、流鍋馬の3つの行事を中心に行われてきたが、最近では、大仏や文学館等でのライトアップなど新たな事業にも取組んでいる。今後も、観光ニーズに対応し、地域の活性化につながる事業を検討、実施することが必要である。</p> <p>- 2 薪能は、今年で52回目を迎え、全国的にも知名度がある行事である。屋外での行事であり、天候によって実施が左右されるとともに、観客1名あたりのコストが他の事業に比べて高い。今後は、財源の確保と併せ支出の削減策を検討する必要がある。</p> <p>- 3 ふれあいフェスティバルは、鎌倉の魅力を写真で表現する写真コンクールとして今年で15回目を迎える。内容も、年ごとに、募集部門を見直し、また、展示時期を変更するなど作品数の確保に努めている。今後も継続して事業を続けていくことが必要である。</p> <p>- 4 義経まつり、大船まつり、玉縄史跡まつりは、それぞれの地域の活性化を目的に、地域の方が一丸となって取組んでいる事業であり、今後も継続して支援を続けていくことが必要である。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	藤沢市...2008(平成20年度)江ノ島マイアミビーチショー(実行委員会主催) 市負担金 13,428千円(31.8%) 費用総額 42,182千円 逗子市...平成21年度 花火大会(観光協会主催) 市補助金 9,400千円 + 警備委託費 7,000千円 = 16,400千円(42.1%) 費用総額 39,000千円				
特記事項 (事業の沿革等)	* 俳句&ハイク：平成17年度から、応募枠に子どもの部を新設。 * 鎌倉花火大会：第60回大会(平成20年度)から市、観光協会、商工会議所、その他関係団体で構成する実行委員会が主催。59回大会までは、鎌倉市観光協会主催。 * 鎌倉薪能：平成16年度(第46回)から有料化。				